

2025年度
名古屋学芸大学大学院
看護学研究科
看護学専攻(修士課程)
保健師養成コース

学生募集要項

名古屋学芸大学大学院看護学研究科



NUAS
名古屋学芸大学

アドミッション・ポリシー

(入学者受入れの方針)

本研究科は、教育目的を理解し入学を希望する次のような者を求める。

- ①多様な研究への探究心をもって主体的に取り組み、表現できる人
- ②看護教育への関心を持ち、看護の専門性に基づいた知識・技能に向き合い教育に取り組む意欲のある人
- ③実践能力を高める意欲と科学的根拠に基づいた看護を思考し、多様な人々と協働できる人

保健師養成コースでは、上記①から③に加えて、次のような者であることを求める。

- ④地域の健康課題の解決に向けて保健師として取り組む意欲のある人

1. 募集人員

研究科	専攻	課程	コース	試験種別	募集人員
看護学研究科	看護学専攻	修士課程	保健師養成コース	一般選抜	2名
				名古屋学芸大学看護学部特別選抜	2名

2. 研究領域構成等

領域	分野	取得学位
広域看護学領域	地域・在宅看護学	修士(看護学)

※1. 上記の領域で研究指導を受けることとなります。

※2. 当コースにおいて、修了要件となる所定の単位(保健師養成科目を含む)を修得し、修士論文を提出のうえ最終試験に合格した場合には、保健師国家試験受験資格を得ることができます。

3. 出願資格

「出願資格」は、一般選抜試験、社会人特別選抜試験共通であり、以下の①から⑩のいずれかに該当する者とする。ただし、入学する当該年の4月時点で、保健師助産師看護師法による看護師資格を有しない場合は、入学を認めない。

- ①大学(学校教育法第83条)を卒業した者、または当該年度に卒業見込みの者(学校教育法(昭和22年法律第26号。以下「法」という。)第102条)
- ②独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者、または当該年度までに授与される見込みの者(施行規則第155条第1項第1号)
- ③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、又は当該年度までに修了見込みの者(施行規則第155条第1項第2号)
- ④外国の学校が行う通信教育をわが国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者、又は当該年度までに修了見込みの者(施行規則第155条第1項第3号)
- ⑤わが国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程(文部科学大臣指定外国大学日本校)を修了した者、または当該年度までに修了見込みの者(施行規則第155条第1項第4号)
- ⑥外国の大学等において、修業年限が3年以上(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する博士課程への入学については5年)の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者、または当該年度までに修了見込みの者(施行規則第155条第1項第4号の2)
- ⑦指定された専修学校の専門課程(修業年限が4年修業)を修了した者、または当該年度までに修了見込みの者(施行規則第155条第1項第5号)
- ⑧旧制学校等を修了した者(昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号、昭和30年文部省告示第39号第2号)
- ⑨防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者、または当該年度までに修了見込みの者(昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号、昭和30年文部省告示第39号第2号)
- ⑩本大学院において個別の出願資格事前審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、当該年度に22歳に達する者(施行規則第155条第1項第8号)

※出願資格⑩により出願しようとする者は、前もって事前資格審査基準に基づき「出願資格事前審査」を行い、出願資格認定の審査を受けなければならない。短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者及びその他の教育施設の修了者など大学卒業資格を有していない者で、次の(ア)に加えて、(イ)から(エ)のうち1つの審査基準を満たす者

(ア) 看護師、助産師の何れかの資格を有している者

(イ) 看護師、助産師の資格取得後実務経験が5年以上の者

(ウ) 研修学校(厚生労働省、看護協会、県など公共またはそれに相当する機関の研修学校)又は継続教育(管理者コース)などを修了している者

(エ) 業績（査読のある学術雑誌への掲載、学会の発表の経験）を有する者

※出願資格⑩により出願を希望する者は、出願前に出願資格の認定を受けてください。認定を受けていない者は、出願できません。

【一般選抜試験】

前記の出願資格を満たす者を対象とする。ただし、入学する当該年の4月1日時点で保健師助産師看護師法による看護師資格を有しない場合は、入学を認めない。

【名古屋学芸大学看護学部特別選抜試験】

本学看護学部を卒業した者（卒業見込者を含む）で、卒業後3年以内（入学時）の者を対象とする。ただし、入学する当該年の4月1日時点で保健師助産師看護師法による看護師資格を有しない場合は、入学を認めない。

【入学後の留意事項】

- ①保健師養成コースにおいては、長期履修制度は適用しない。
- ②保健師養成コースの入学後の科目履修においては、日中開講の講義・実習等の履修を基本とするが、これに加え、夜間または土曜開講の科目を履修する場合がある。

4. 入学試験日程

【前期日程】

本年度は実施しない。

【後期日程】

試験種別	出願資格事前審査書類提出期限	事前相談完了期日	出願期間	試験日	合格発表
一般選抜	2024年 11月8日(金)	2024年 12月3日(火)	2024年 12月4日(水)	2025年 1月25日(土)	2025年 2月6日(木)
名古屋学芸大学 看護学部特別選抜			～12月17日(火)		

注1. 提出書類は、提出期限必着とする。

注2. 後期日程の出願書類等の書類送付請求締切日：2024年12月10日（火）17時

- ※1. 出願資格⑩により出願を希望する者は、上記のそれぞれの入試日程の「出願資格事前審査書類提出期限」までに出願資格事前審査の手続き書類を提出し、審査を受けてください。
- ※2. 出願しようとする者は、出願前に広域看護学領域地域・在宅看護学分野の教員（担当教員一覧の※印の教員）に、研究テーマ等の入学後の研究計画等について相談してください。事前に相談をしていない者は出願できません。
- ※3. 事前相談については、「担当教員一覧」へ記載の事前相談の連絡先メールアドレス（E-mail：in-kango_ml@nuas.ac.jp）へメールにて連絡をしてください。
- ※4. 最新の入試情報については、本学Webサイト上で公開しますので、ご確認ください。

5. 試験科目及び試験時間

試験種別	試験科目等	試験時間
一般選抜	説明	9:15 ~ 9:30
	専門科目	9:30 ~ 10:30
	休憩	10:30 ~ 10:45
	説明	10:45 ~ 11:00
	小論文	11:00 ~ 12:30
	休憩	12:30 ~ 13:15
	説明	13:15 ~ 13:30
	面接	13:30 ~
名古屋学芸大学 看護学部特別選抜	説明	10:45 ~ 11:00
	小論文	11:00 ~ 12:30
	休憩	12:30 ~ 13:15
	説明	13:15 ~ 13:30
	面接	13:30 ~

※名古屋学芸大学看護学部特別選抜試験については、上記試験科目の点数に、指定科目の平均点を加算して判定する。

6. 試験会場

名古屋学芸大学・名城前医療キャンパス（看護学部棟）

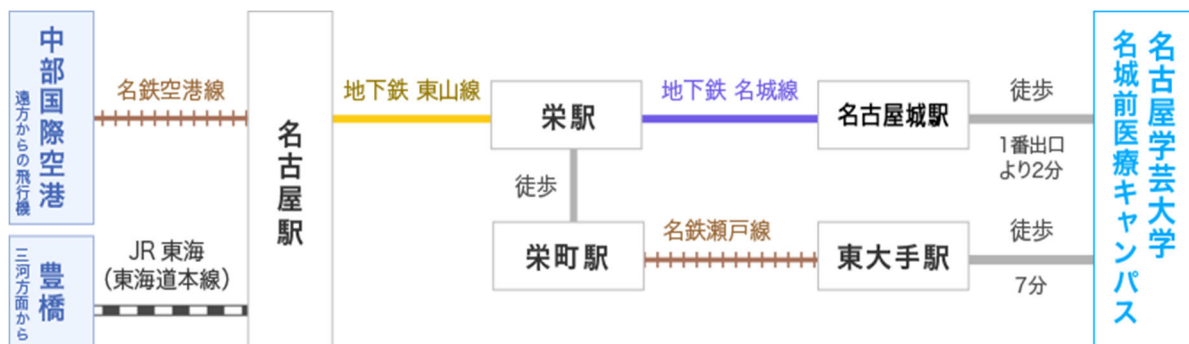
住所：〒460-0001 名古屋市中区三の丸 4-1-1

TEL：052-954-1222

※交通アクセスの詳細は、本学ホームページで確認してください。

<https://www.nuas.ac.jp/profile/access.html>

《最寄りの駅からのアクセス》



- ◇ 名古屋市営地下鉄名城線「名古屋城」駅下車、1番出口徒歩約2分
- ◇ 名鉄瀬戸線「東大手」駅下車 徒歩約7分

7. 出願手続

書 類 等	作成方法等
1. 入学願書	本研究科所定の用紙[A]に必要事項を記入し提出してください。
2. 志願理由書	本研究科所定の用紙[B]に、必要事項を記入し提出してください。
3. 推薦書	名古屋学芸大学看護学部特別選抜試験の出願者は、看護学部長が作成した所定の推薦書[C]を提出してください。
4. 受験票・写真票	本研究科所定の用紙[D]に必要事項を記入してください。 写真票には、入学願書に貼付したものと同一の写真を貼付してください。 ※写真は、縦4cm×横3cm、上半身・無帽・出願3ヶ月以内に撮影したものであること。また、写真の裏面に氏名、生年月日を明記してください。
5. 成績証明書	出願前3ヶ月以内に出身大学の長が作成したもので、厳封したものを提出してください。(厳封していないものは無効) ※出願資格⑩に該当する者で、出願資格事前審査時に本書類を提出した者は、出願時には本書類は提出不要。
6. 卒業(見込)証明書	出願前3ヶ月以内に、出身大学の長が作成したものを提出してください。 ※出願資格⑩に該当する者で、出願資格事前審査時に卒業(修了)証明書を提出した者は、出願時には本書類は提出不要。
7. 出願資格認定通知書(写)	出願資格⑩に該当する者は、審査後に送付される出願資格認定通知書の写し(コピー)を提出してください。
8. 学位授与証明書	出願資格②に該当する者は、学位授与機構が証明したものを提出してください。
9. 看護師免許証等(写)	看護師、保健師、助産師の免許証の写し(A4サイズに縮小コピーしたもの)を提出してください。 2025年2月の看護師国家試験において看護師免許証を取得見込みの者は、取得後速やかに提出していただきます。
10. 入学検定料振込証明書	入学検定料 35,000円 入学検定料振込証明書に収納印、氏名の記入があることを確認し、「提出用」を入学検定料振込証明書貼付用紙兼出願書類等チェック表に貼付して提出してください。
11. 受験票送付用宛名シール	本研究科所定のシール紙[I]に、受験票の送付先住所及び宛名を記入し提出してください。
12. 入学検定料振込証明書貼付用紙兼出願書類等チェック表	入学検定料振込証明書貼付用紙兼出願書類等チェック表[J]により、提出書類に不備がないかを確認し、チェック欄に☑を記入し提出してください。

8. 出願資格事前審査の手続き

出願資格⑩により出願を希望する者は、出願前に以下の書類を提出し、出願資格の認定を受けてください。認定を受けていない者は出願できませんので、注意してください。

出願資格事前審査に関する提出書類（出願資格⑩関連）

書 類 等	作 成 方 法
1. 入学試験出願資格認定申請書	本研究科所定の用紙[K]に、必要事項を記入し提出してください。
2. 志願理由書（写）	本研究科所定の用紙[B]に、必要事項を記入したものの写し（両面コピーをしたもの）を提出してください。
3. 履歴書	本研究科所定の用紙[L]に必要事項を記入し、所定欄に写真を貼付してください。 ※写真は、縦4cm×横3cm、上半身・無帽・出願3ヶ月以内に撮影したものであること。また、写真の裏面に氏名、生年月日を明記してください。
4. 研究業績を証する書類	本研究科所定の用紙[M]に、研究業績を記載のうえ、査読のある学術雑誌への掲載又は学会発表の経験が確認できる投稿論文の写し、抄録、発表原稿等を添付し提出してください。 （出願資格⑩に該当する者で、審査基準（エ）を適用希望者のみ）
5. 在職証明書	看護師、保健師、助産師として5年以上勤務したことが確認できる在職証明書を提出してください。 （出願資格⑩に該当する者で、審査基準（イ）を適用希望者のみ）
6. 研修学校又は継続教育等の修了証書(写)又は修了証明書	研修学校又は継続教育などの修了証書（写）又は修了証明書を提出してください。 （出願資格⑩に該当する者で、審査基準（ウ）を適用希望者のみ）
7. 成績証明書	出願前3ヶ月以内に出身学校の長が作成したもので、厳封したものを提出してください。 <u>（厳封していないものは無効）</u>
8. 卒業（修了）証明書	出願前3ヶ月以内に出身学校の長が作成したものを提出してください。
9. 看護師免許証等（写）	看護師免許証をA4サイズに縮小コピーして提出してください。 なお、保健師免許証、助産師免許証をお持ちの方は、同様にA4サイズに縮小コピーして、看護師免許証（写）と一緒に提出してください。

※審査結果を、本人あてに通知しますので、出願期間開始日までに通知が届かない場合には、「14. お問い合わせ及び書類の提出先」まで連絡してください。

9. 出願上の注意事項

- (1) 出願書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- (2) 一旦提出された出願書類等及び入学検定料は、理由の如何を問わず、一切返還しません。
- (3) 受験票は、出願書類受理後、受験者本人に送付します。試験日の3日前になっても受験票が届かない場合は、「14. お問い合わせ及び書類の提出先」までお問合せください。
- (4) 出願書類等は、不備がないかを必ず確認のうえ、専用封筒を用いて、必ず、簡易書留郵便にて送付してください。出願書類の提出は、郵送に限ります。直接、ご持参いただいても書類の受理はできませんので、注意してください。
- (5) 出願書類に虚偽の記載があった場合には、入学を取り消すことがあります。
- (6) **入学願書等出願手続書類の請求は、必ず、メールにて「in-kango-jimu_ml@nuas.ac.jp」へ余裕をもって請求してください。書類は郵送にて送付いたします。**

《書類請求メールへの記載事項》

- ①氏名、②住所、③常時連絡が取れる電話番号、④メールアドレス
- ⑤希望入試区分(一般、社会人特別選抜、名古屋学芸大学看護学部特別選抜の別)
- ⑥希望入試日程(前期日程、後期日程の別)、⑦出願資格事前審査の有無

10. 受験上の注意

- (1) 受験票は必ず持参し、監督者が見やすいように、座席票の手前に置いてください。
- (2) 解答には黒鉛筆またはシャープペンシルを使用してください。
- (3) 試験室では試験問題の内容に関する質問には一切答えられません。
- (4) 試験室には時計がありませんので、各自用意してください。
- (5) 電卓、翻訳機、計算機能付腕時計、辞書付腕時計やウェアラブル端末、置時計の試験室への持ち込みはできません。
- (6) 試験中の耳栓の使用は認められません。
- (7) 試験中に身体の具合が悪くなったときは、監督者に申し出てください。
ただし、一時退出が認められても、試験時間の延長は認められません。
- (8) 試験会場に駐車場の用意はありません。公共交通機関を利用してください。
- (9) 遅刻限度時刻は、試験開始後30分以内です。

11. 合格発表

- (1) 合格発表日の14時から本学ウェブサイトにて合格者の受験番号を掲示します。
- (2) 合格者には合格通知書および入学手続書類を、入学願書記載の住所へ本人宛に速達・簡易書留またはレターパックで送付します。なお、不合格者には通知等の送付は行いません。
- (3) 電話などによる合否に関する問い合わせには一切応じられません。

12. 入学手続及び学生納付金

(1) 入学手続

入学手続は、合格通知の際に送付する入学手続資料を熟読し、所定の期限までに完了してください。

(2) 納付金（2025年度入学生）

（単位：円）

区 分	入学手続時	1年次後期	2年次前期	2年次後期	計
入 学 金	100,000	—	—	—	100,000
授 業 料	382,500	382,500	382,500	382,500	1,530,000
教育充実費	95,000	95,000	95,000	95,000	380,000
保健師養成コース履修経費	50,000	50,000	50,000	50,000	200,000
計	627,500	527,500	527,500	527,500	2,210,000

※名古屋学芸大学卒業生は入学金を免除します。

13. お問い合わせ及び書類の提出先

〒460-0001

愛知県名古屋市中区三の丸 4-1-1

名城前医療キャンパス看護学部棟 2階

名古屋学芸大学大学院看護学研究科

名城前医療キャンパス事務室（入試担当）

E-mail : <in-kango-jimu_ml@nuas.ac.jp>

TEL : (052)954-1222 FAX : (052)954-1225

※お問合せは、できる限りメールにてお願いいたします。

保健師養成コース・科目担当教員一覧

【専任教員】 ※印は、事前相談対応教員

(2025年4月1日予定)

領域	分野	役職	氏名	担当授業科目	研究テーマ
発達看護学 領域	母性・助産看護学	教授	清水嘉子	看護研究方法論	<ul style="list-style-type: none"> ・出産時の看護/夫婦協同育児 ・育児期の母親・父親の心理と支援 ・助産学生の分娩介助技術の獲得過程/助産基礎教育と卒後教育の継続性
	成人・老年看護学	教授	穴井美恵	看護フィールド演習	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の咀嚼に関する研究 ・介護予防に関する研究 ・認知症予防に関する研究
広域看護学 領域	精神看護学	教授	永井邦芳	看護コンサルテーション論	<ul style="list-style-type: none"> ・客観的精神機能指標の臨床活用 ・精神障害当事者及びその家族の地域生活支援に関する研究 ・精神臨地場面におけるティーチャブルモーメントの明確化
	地域・在宅看護学	教授	※ 西出りつ子	地域・在宅看護学特論 地域・在宅看護学演習 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 公衆衛生看護学特論 公衆衛生看護支援技術特論 個人と家族の支援技術論 集団・組織・地域の支援技術論 公衆衛生看護展開特論 コミュニティ・ヘルス・アセスメント 公衆衛生看護管理特論 保健医療福祉行政展開特論 地域包括ケア展開技術論 個人と家族の継続看護支援実習 公衆衛生看護活動展開実習 公衆衛生看護管理理論実習 実践地域事業展開実習	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生看護学に関する研究 ・在宅看護学に関する研究 ・地域連携に関する研究

広域看護学 領域	地域・在宅看護学	准教授	工藤紀子	地域・在宅看護学特論 地域・在宅看護学演習 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 公衆衛生看護支援技術特論 個人と家族の支援技術論 集団・組織・地域の支援技術論 母子保健支援技術論 公衆衛生看護展開特論 産業・学校保健活動展開特論 コミュニティ・ヘルス・アセスメント 地域包括ケア展開技術論 個人と家族の継続看護支援実習 公衆衛生看護活動展開実習 産業・学校保健実習 実践地域事業展開実習	・特定健康診査・特定保健指導に関する研究 ・地域住民の介護予防に関する研究 ・中山間過疎地域住民における健康に関する研究
		講師	鯉淵乙登女	個人と家族の支援技術論 母子保健支援技術論 個人と家族の継続看護支援実習	・母子保健に関する研究 ・育児支援に関する研究 ・小児保健、保育保健に関する研究
発展看護学 領域	災害看護学				
	看護管理学	教授	白鳥さつき	看護倫理学 看護マネジメント論	・看護師の労働安全に関する研究 (職業被ばく、抗がん薬曝露、ハラスメントなど) ・臨床倫理に関する研究感情労働に関する研究 ・臨床看護実践能力に関する研究、リフレクションなど
	看護教育学	教授	平賀元美	看護教育方法論	・看護技術習得や実習における自己調整学習に関する研究 ・学習者のストレス対処力、ソーシャルサポートに関する研究 ・看護学の教育方法、教育評価に関する研究
その他関連分野		教授	五十里 明	保健医療福祉行政論 公衆衛生看護管理特論 保健医療福祉行政展開特論 地域包括ケア展開技術論	・地域包括ケアの構築に関する研究 ・特定健康診査・特定保健指導に関する研究 ・健康危機管理に関する研究
		教授	石井健一朗	看護病態生理学 看護臨床薬理学	・がん薬物療法における既存医薬品の適応外使用に関する研究(ドラッグ・リポジショニング) ・前立腺がん個別化ホルモン療法の開発に関する研究(がん微小環境、細胞間相互作用)

その他関連分野	准教授	出原 弥和	看護理論 看護海外研修	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携教育と教育効果に関する研究 ・基礎看護技術に関する研究 ・パラスポーツと看護に関する研究
	准教授	宮本 恵子	国際看護学	<ul style="list-style-type: none"> ・国際協力に携わる人材養成に関する研究 ・健康寿命、疾病構造に関する国際栄養研究 ・食品多様性と健康寿命に関する国際研究 ・平均寿命と健康寿命の差の要因に関する国際比較研究

※1. 事前相談の連絡先メールアドレス: E-mail : <in-kango_ml@nuas.ac.jp>

※2. 事前相談に係る連絡メールへは、以下の内容を記載してください。

- ①研究指導を希望する教員名（※印の教員）
- ②希望する入試区分・入試日程区分
- ③受験者の住所・氏名
- ④受験者の所属先
- ⑤受験者の所属部署又は学年
- ⑥連絡先メールアドレス
- ⑦連絡先電話番号（携帯電話）
- ⑧事前相談希望日
- ⑨その他（質問・相談事項等）